

安全データシート**1. 製品及び会社情報**

製品名 : ABC 粉末消火薬剤
 会社名 : 株式会社丸山製作所
 問合せ先
 会社名 : マルヤマエクセル株式会社
 部署名 : 防災事業部 防災企画業務課
 電話番号 : 0475-52-8755
 FAX 番号 : 0475-52-5999

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
 自然発火性固体 : 区分外
 有機過酸化物 : 区分外
 急性毒性(経口) : 区分5
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

記載がないものは、分類できないか、分類対象外。

GHSラベル要素

注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ。
 注意書き : 【安全対策】 必要に応じて個人用保護具を使用すること。取扱い後は良く手を洗うこと。
 【救急措置】「4. 応急措置」を参照
 【保管】「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照
 【廃棄】「13. 廃棄上の注意」を参照

3. 組成及び製品情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分名	含有量(%)	化審法番号	安衛法	CAS 番号
第一リン酸アンモニウム	35~46	(1)-379	公表	7722-76-1
硫酸アンモニウム	35~46	(1)-400	公表	7783-20-2
二酸化珪素	3~10	(1)-548	公表	あり
染料	0.1	あり	公表	あり

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を大量の水で十分に洗い流す。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水又は食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は不燃性である。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特定の消火方法 : 不燃性であるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入したりしないようにする。一般的に風上から作業を行い、作業の際には適切な保護具(眼鏡、マスク)を着用する。風下への人の退避は避ける。
- 環境に対する注意事項 : リン及び窒素を含有し、水質の富栄養化の原因となるため、河川などに排出しない。
- 回収、中和
(廃棄などの封じ込め浄化の方法・機材) : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の措置

- 取扱い
- 技術的対策 : 皮膚に付いたり、粉塵を吸入したりしないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : みだりに粉塵が発生しないように取扱う。
- 保管
- 適切な保管条件 : 容器は密閉して冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料 : 製品容器、該当する消火器

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 屋内での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設けることが望ましい。
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度 日本産業衛生学会(2004)	: 第3種粉塵(無機の粉塵) 吸入性粉塵:2mg/m ³ 総粉塵:8mg/m ³
保護具	
呼吸器用の保護具	: 必要に応じて防塵マスクを着用する。
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
目の保護具	: ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣(長袖作業衣)・保護長靴, 保護衣等

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 淡紅色流動性のある微粉末
臭い	: 無臭
pH	: 水溶液は弱酸性
融点	: 分解
沸点	: 分解
引火点	: 引火点なし
引火又は爆発限界	: 上限;データなし, 下限;データなし
密度	: 0.88g/cm ³
溶解度	: 水;撥水処理を施しているため水にほとんど溶解しないが、撥水性が喪失すれば溶解する。有機溶媒;エタノールに微溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: 酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	: 日光, 熱
混触危険物質	: アルカリ
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物, 硫黄酸化物, アンモニアガス

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口:(区分5) 飲み込むと有害の恐れ。 経皮:データ不足のため分類できない 吸入(蒸気):データ不足のため分類できない 吸入(粉塵・ミスト):データ不足のため分類できない 粉塵を吸入すると, 鼻, のど, 気管が刺激される
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外
目に対する重篤な損傷・刺激性	: データ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性:データ不足のため分類できない 皮膚感作性:データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない
発ガン性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	: データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚	: データなし
甲殻類	: データなし
藻類	: データなし
残留性／分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: ポリ袋に入れ, 梱包し, 日本消火器工業会が定める特定窓口に引き渡す。または都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は, 内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

- 国内規制 : 非該当
- 国際規制 : 非該当
- 輸送時の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け, 容器の漏れのないことを確かめ, 落下, 転落, 損傷がないように積み込み, 荷崩れの防止を確実に行う.

15. 適用法令

- 化学物質管理促進法(PRTR 法) : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 労働安全衛生法 : 施行令第十八条の二 名称等を通知すべき危険物及び有害物 シリカ(政令番号 312)
- 水質汚濁防止法 : 施行令第二条:アンモニウム化合物
施行令第三条:リン含有量
排出濃度により, 水素イオン濃度, BOD(生物化学的酸素要求量), COD(化学的酸素要求量)の規制を受ける.

16. その他の情報

- 引用文献 : 国際化学物質安全性カード(ICSC)-日本語版-(2000)/国立医薬品食品衛生研究所
化学品安全管理データブック/化学工業日報社
化学物質等法規制便覧/化学工業日報社
GHS 分類結果データベース/製品評価技術基盤機構
H.P
理化学辞典(第4版)/岩波書店
弊社入手の製品安全データシート及び入手資料

* 本製品安全データシートは, 各種の文献などに基づいて作成しておりますが, 必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので, 取扱いには十分注意して下さい. なお, 注意事項は通常取扱いを対象としたものであり, 特殊な取扱いをする場合には, その用途・用法に適した安全対策を施してください. また, 含有量, 物理/化学的性質, 危険有害性などの記載内容は, 情報提供であり, いかなる保証をなすものではありません.